

青龍楽校(水辺の楽校)ニュース

No.88(2006.11) 発行:青龍楽校活用委員会

鬼怒川にサケが帰ってきた!

青龍楽校少年団

サケ取り見学会



☆なぜ、漁業協同組合が川でサケ親魚を採るの？
川に上ってきた親魚を採らないでそのまま泳がしておけば、自然に産卵を行います。しかし、川環境は厳しいので、稚魚まで育つサケが少なかったり、産卵しようとする親魚を勝手に採ってしまう人たちがいます。このため、漁業協同組合では海から上がった親魚を採って、卵から稚魚になるまで育てて放流し、サケを増やしているのです。



11月18日(土)、青龍楽校少年団の“サケ取り見学会”が鎌庭第1床固工で開かれました。

団員47人と保護者が参加し、川原で生きたサケに触ってオスとメスの見分け方の説明を受け、鬼怒小貝漁業協同組合の人がサケのお腹を裂いて卵を取り出すと“ウー、イクラだよー”と歓声があがりました。またこの日は、水産試験場の佐藤さんからサケやアユの生態についての話を聞き、しっかり勉強もしました。(写真提供:下館河川事務所鎌庭出張所)

鬼怒川の清掃活動もしました

